



第6回日本木材保存協会功績賞

「木材の耐候性向上に関する研究と木材保存の広報普及活動への貢献」

片岡 厚（国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所）

1987年に京都大学農学部林産工学科を卒業し、1993年より森林総合研究所に勤務。木材化工部や木材改質研究領域において、主に木材の耐候性向上に関する研究に従事した後、広報普及科長を経て、2020年から研究コーディネーター（産学官民連携推進担当）となり、現在に至る。

業 績 概 要

木材のエクステリア空間における利用拡大を目的に、木材が太陽光や雨水などの作用で気象劣化するメカニズムの解明や、木材の耐候性（気象劣化への抵抗性）を向上させるための塗装、メンテナンス、評価技術の高度化に資する研究を推進しました。また、木材のエクステリア利用に関する各種事業や委員会活動に参画し、研究成果の社会還元に努めました。

日本木材保存協会においては、2014年から2017年まで年次大会運営委員長を務め、ベストプレゼンテーション賞の創設や海外からの講師の招へいなど新たな取組を進めました。また、2017年から2023年5月まで広報委員長として会誌「木材保存」の企画・編集を担い、協会創立40周年記念特集号「木材保存の技術・研究のこれまでとこれから」を刊行するなど広報普及活動に貢献しました。

研 究 業 績

- 1) 片岡厚：“木材保存学入門 改訂4版”，日本木材保存協会編，2018，pp.166-170.
- 2) 「木材保存」編集委員会：創立40周年特集号の企画・編集にあたって，木材保存，**44**，129（2018）.
- 3) 片岡厚：木材の気象劣化と表面保護，木材保存，**43**，58-68（2017）.
- 4) 日本木材保存協会：“平成28年度林野庁補正助成事業「地域材利用拡大のための木質外構部材のリフォーム・リニューアル技術の確立とその普及」成果報告書”，2017，pp.27-46.
- 5) 村井まどか，片岡厚ほか：塗装した熱処理木材の表面分析，木材保存，**43**，250-257（2017）.
- 6) 片岡厚ほか：木材保護塗料の耐候性能向上に及ぼす素地粗面化処理の影響，木材保存，**42**，18-25（2016）.
- 7) 片岡厚ほか：スギ製遮音壁の耐候性－保存薬剤注入処理による塗装耐候性向上効果－，木材保存，**41**，62-70（2015）.
- 8) 石川敦子，片岡厚ほか：塗装木材に関する屋外暴露試験と促進耐候性試験の相関，木材保存，**40**，55-63（2014）.
- 9) 小林正彦，木口実，片岡厚ほか：混練型WPCの耐候性に及ぼす加溶媒分解木材の添加効果，木材保存，**40**，8-16（2014）.
- 10) 原田寿郎，片岡厚ほか：屋外暴露後の難燃処理塗装木材の耐候性と防火性能，木材保存，**39**，16-23（2013）.